

学校だより

～北斗ブルー～



北海道北斗高等支援学校

第4号

令和6年3月22日発行

文責 澤田 崇史

コロナ明けの1年間を振り返って

校長 澤田 崇史

例年よりも少し早く、桜の開花の話題が寄せられています。今年は、雪も少なく、暖かい日が続く中で、先日第5回卒業式を行い、卒業生9名全員を無事送り出すことができました。卒業生の皆さんには、これからの人生における主人公としてのご活躍を期待し、長くご健康で過ごされることをお祈り申し上げます。

さて、本年度を振り返りますと、5月に新型コロナウイルス感染症における感染法上の五類への移行に続き、令和6年3月をもって公費支援が終了する予定であることなど、日常生活の中で、新型コロナに関わる話題がほとんど見受けなくなりました。その一方で、インフルエンザ感染症が流行し、学年閉鎖を行うなど、新型コロナへの罹患と併せて、あらゆる感染症の予防の重要性と感染症対策の継続が必要であることを実感しています。

学校では、マスクの着用など個人の判断に任せるようになり、町中を散策していてもマスクを付けていない人の割合が多くなった気がします。校内でも生徒・教職員ともマスクの着用者・非着用者それぞれいますが、コロナが猛威を振るっていた時に入学してきた現在の高1、高2の中には、常時マスクを着用している人もおり、コミュニケーション方法を学ぶ難しさを痛感しています。

コミュニケーションには、言語によるコミュニケーションの他、身振り手振り、表情など非言語のコミュニケーションがあります。相手にわかりやすく言葉で伝える難しさと、表情など相手の感情の理解しながら言葉を選ぶ難しさがあり、これらの経験を中学校時代から十分できなかった世代でもありますので、学校での指導においても、家庭での育児でも、この先社会に出たときにもお互い困難さを感じるのかもしれない。

学習活動に目を向けると、昨年までは、高齢者施設や幼児教育施設等など、基礎疾患を持つ方が多い場所や感染リスクが多い方がいらっしゃる場所での実習を控えていましたが、感染対策を丁寧に行いつつ、デュアル実習を再開し、少しずつ活動が以前の状況に戻りつつあります。

また、以前より活発に行っていた課外活動について、今年度もビルクリーニング検定2級・3級取得者や社会福祉・介護福祉検定、日本漢字能力検定、文書処理能力検定などに進んで取り組み、合格を勝ち取る生徒が増えてきました。そのほかにも、ティールボール部・バスケットボール部の全道大会出場、バドミントン部における道南地区高等支援学校での優勝、全国学芸サイエンスコンクール入賞、はこだて・冬・アート展奨励賞などを受賞するなど、学校内外において活躍する生徒が多く、大変喜ばしく思っています。

生徒の活躍により学校の認知度が高まることは、保護者・地域の皆様の信頼を得、円滑な学習活動にもつながっています。そして学校の信頼は、生徒の就労にも影響するのではないかと考えておりますので、生徒にとっては、社会の中で適切に人と関わる力、職員にとっては信頼される学校を目指し、引き続き取り組みを進めて参ります。

最後になりますが、今年度も保護者や地域の皆様の支えにより、無事に年度末を迎えることができました。改めて感謝申し上げます。新年度も今まで以上に良い学校を作っていくよう、職員一丸となって取り組みを進めて参りますので、変わらぬご理解とご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

WTW(ワークトレーニングウィーク)2期

WTWとは、5日間通して1～6時間目まで働き、長時間の仕事に対応できる体力や集中力などを育成する実習です。

環境・流通サポート科1年生

北斗市総合体育館や学校内教室の清掃、ワックス掛けを行いました。



2年生

函館市内の「ルートイングランティア函館駅前」で客室清掃やベッドメイキング、大浴場や食堂、玄関などの共用部分の清掃をさせていただきました。

福祉サービス科1年生

校内カフェのオープンに向けての準備を行い、最終日にお客様をお迎えしてカフェ運営を行いました。



第5回 卒業式

3月9日(土)、第5回卒業式を挙行し、5期生の9名がそれぞれの決意を胸に卒業しました。卒業生9名の最後の学習発表の場となりましたが、卒業証書授与、スピーチ、式歌斉唱など感動的で思い出に残る式となりました。

5期生の皆さん、これからが新たな人生の「スタート」です。それぞれの場所で「自分らしく」頑張ってください。応援しています。

卒業生たちは卒業証書を受け取った後、3年間の思い出や今後の抱負、今まで支えてくれた家族や教員への感謝の気持ちなどの思いを込めた作文をステージ上で読み上げました。

祝 赤尾好夫記念賞!!

旺文社主催の『第67回全国学芸サイエンスコンクール』に本校3年、池田きららさんが美術の授業で制作した絵画を出品したところ、全国81、948点の応募の中から『赤尾好夫記念賞』を受賞する快挙を果たしました。更に『第24回はこだて冬・アート展』に出展した環境・流通サポート科3年、伊藤結菜さんも奨励賞を受賞し、うれしい結果を残しました。



離任者挨拶 この紙面をお借りいたしましてお礼とお別れの挨拶とさせていただきます。

教頭 渡辺 祐介 (北海道札幌養護学校 白桜高等学園へ)

北斗高等支援学校に赴任して3年が過ぎました。「北斗の生徒は挨拶が素晴らしい!」これが第1印象でした。時には部活動や体育にも参加し、楽しく過ごすことができました。これからも先輩方が培った「北斗スタンダード」を引き継いでいってください。保護者及び関係機関の皆様、3年間お世話になりました。北斗での思い出を胸に、次の学校でも元気に頑張りたいと思います。ありがとうございました。

教諭 新城 保志 (北海道七飯養護学校へ)

開校から7年間お世話になりました。どんなことにも一生懸命ひたむきに取り組む生徒たちの姿にいつも感銘と元気をもらいながら、充実した学校生活を送ることができました。生徒の皆さん、保護者の皆様、地域の皆様、本当にありがとうございました。

教諭 長内 翔太 (北海道札幌高等養護学校へ)

北斗高等支援学校へ赴任して6年が過ぎました。挨拶も歌声も元気いっぱい。エネルギーあふれる皆さんと沢山の思い出と多くのことを学ばせていただきました。これからも「北斗スタンダード」を大切に「人として」「働く人になるために」更に磨きを掛け、希望の夢に向かって頑張ってください。北斗盛り上げ隊としていつまでも応援しています。私も新天地で頑張ります。保護者及び地域の皆様6年間ありがとうございました。

専門主任主事 蛸子 美奈 (北海道函館高等支援学校へ)

北斗高等支援学校に赴任して5年半が過ぎました。10月1日付けの赴任でしたので変な緊張感がありました。そんな中、「北斗スタンダード」を掲げる生徒達に迎えられ、楽しい学校生活を送らせてもらいました。転勤先が身近なので、顔を合せる機会があると思います。その時は是非、声をかけてください。

保護者及び地域の皆様、お世話になりました。ありがとうございました。

<お知らせ>

次回は4月の発行となります。北海道北斗高等支援学校の学習の様子、学校生活の様子などをお伝えします。どうぞよろしくお願いいたします。

※ホームページもどうぞ御覧ください。

<http://www.hokuto-koushi.hokkaido-c.ed.jp>



北海道北斗高等支援学校に関することや特別支援教育に関するお問い合わせは、下記連絡先までお気軽に御連絡ください。

<住所・連絡先>

北海道北斗高等支援学校 (上磯高等学校 併設)

北斗市中野通3丁目6番1号

TEL:0138-74-3431

FAX:0138-74-3435

